【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-330945(P2003-330945A)
【公開日】平成15年11月21日(2003.11.21)
【出願番号】特願2002-143049(P2002-143049)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　17/30
　Ｇ０６Ｆ　 3/00
　Ｇ０６Ｆ　17/15
　Ｇ０６Ｆ　17/18
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　17/30　　２１０Ｄ
　Ｇ０６Ｆ　17/30　　３５０Ｃ
　Ｇ０６Ｆ　 3/00　　６５１Ｄ
　Ｇ０６Ｆ　17/15
　Ｇ０６Ｆ　17/18　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月11日(2005.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　演算処理装置によって複数のデータを類似度に応じて分類するクラスタ解析システムであって、
　　前記演算処理装置が、
　複数のデータを類似度に応じて分類した部分データを第１の記憶手段から読込む第１の手段と、読込んだ部分データ中の内容を視覚的に認識可能な形式で表示装置の画面に表示する第２の手段と、表示された部分データ中で特定の部分データの指示を受付ける第３の手段と、指示された部分データを含む新規の部分データを形成する第４の手段と、前記新規の部分データに含まれるデータと他の部分データに含まれるデータとのデータ分布の一致度または不一致度を示す評価値を算出し、該評価値を視覚的に認識可能な形式で前記表示装置の画面に表示する第５の手段とを備えることを特徴とするクラスタ解析システム。
【請求項２】
　前記第３の手段が、
　特定の部分データを新規の部分データに追加、または新規の部分データから削除する指示を受付ける手段を備え、
　前記第５の手段が、
　追加または削除操作が行われた直後の新規部分データに対し、他の部分データのデータに対する前記新規部分データに含まれるデータのデータ分布の一致度または不一致度を示す評価値を算出し、該評価値を視覚的に認識可能な形式で前記表示装置の画面に表示する手段を備えることを特徴とする請求項１に記載のクラスタ解析システム。
【請求項３】
　前記第５の手段が、
　前記新規部分データに含まれる全データおよび該新規部分データに含まれない他の部分

データの全データを入力し、所定の演算処理により該新規部分データと他の部分データに含まれるデータとのデータ分布の一致度または不一致度を数値として算出し、算出された数値またはその数値と特定の基準値との比によって表示領域の大きさが決定される図形を前記表示装置の画面に表示する手段を備えることを特徴とする請求項１または２に記載のクラスタ解析システム。
【請求項４】
前記新規部分データの出力要求に応じて、新規部分データおよび他の部分データとを第２の記憶手段に出力する第６の手段をさらに備えることを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載のクラスタ解析システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
【従来の技術】
クラスタ解析システムは、多数のデータを入力し、それらの互いの非類似度（ユークリッド距離等）または類似度（相関係数等）を算出し、より類似度の大きいデータ同士を１つの部分データ（クラスタ）に格納し、またより非類似度の大きいデータ同士を異なる部分データ（クラスタ）に格納し、多数の部分データから成る部分データ群を形成することによって、１つ以上複数のパラメータから構成されるデータの集合を分類するシステムである。
従来、この種のシステムとして、例えば特開２００２－２４２０６号公報（発明の名称：データ群内類似度の幾何学化方法）がある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために、本発明は演算処理装置によって複数のデータを類似度に応じて分類するクラスタ解析システムであって、前記演算処理装置が、
複数のデータを類似度に応じて分類した部分データを第１の記憶手段から読込む第１の手段と、読込んだ部分データ中の内容を視覚的に認識可能な形式で表示装置の画面に表示する第２の手段と、表示された部分データ中で特定の部分データの指示を受付ける第３の手段と、指示された部分データを含む新規の部分データを形成する第４の手段と、前記新規の部分データに含まれるデータと他の部分データに含まれるデータとのデータ分布の一致度または不一致度を示す評価値を算出し、該評価値を視覚的に認識可能な形式で前記表示装置の画面に表示する第５の手段とを備えることを特徴とする。
また、前記第３の手段が、特定の部分データを新規の部分データに追加、または新規の部分データから削除する指示を受付ける手段を備え、前記第５の手段が、追加または削除操作が行われた直後の新規部分データに対し、他の部分データのデータに対する前記新規部分データに含まれるデータのデータ分布の一致度または不一致度を示す評価値を算出し、該評価値を視覚的に認識可能な形式で前記表示装置の画面に表示する手段を備えることを特徴とする。
また、前記第５の手段が、前記新規部分データに含まれる全データおよび該新規部分データに含まれない他の部分データの全データを入力し、所定の演算処理により該新規部分データと他の部分データに含まれるデータとのデータ分布の一致度または不一致度を数値として算出し、算出された数値またはその数値と特定の基準値との比によって表示領域の

大きさが決定される図形を前記表示装置の画面に表示する手段を備えることを特徴とする。

また、前記新規部分データの出力要求に応じて、新規部分データおよび他の部分データとを第２の記憶手段に出力する第６の手段をさらに備えることを特徴とする。